

JOURNAL

2020 vol.65

特集

寄稿 新型コロナと男女共同参画
—家事・育児は誰の役割なのか—

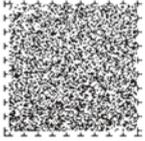
10月1日は久留米女性憲章制定日です

久留米女性憲章

わたくしたちは「男女共同参画社会 久留米」をめざし、人間としての自立と平等を基本理念として、家庭で、学校で、職場で、地域で、生涯を通じ、男女がともにのびやかに豊かに生きる新しいまちづくりを進めるために、この憲章を定めます。

1. 男女平等をあらゆる場、あらゆる機会を進めます。
2. 男女がともに自立し、いきいきと暮らせるまちをつくります。
3. 男女があらゆる分野とともに参画できるまちをつくります。





災害と男女共同参画

～大規模災害にそなえて一緒に考えてみませんか？～



写真: 令和2年7月豪雨 久留米市内様子



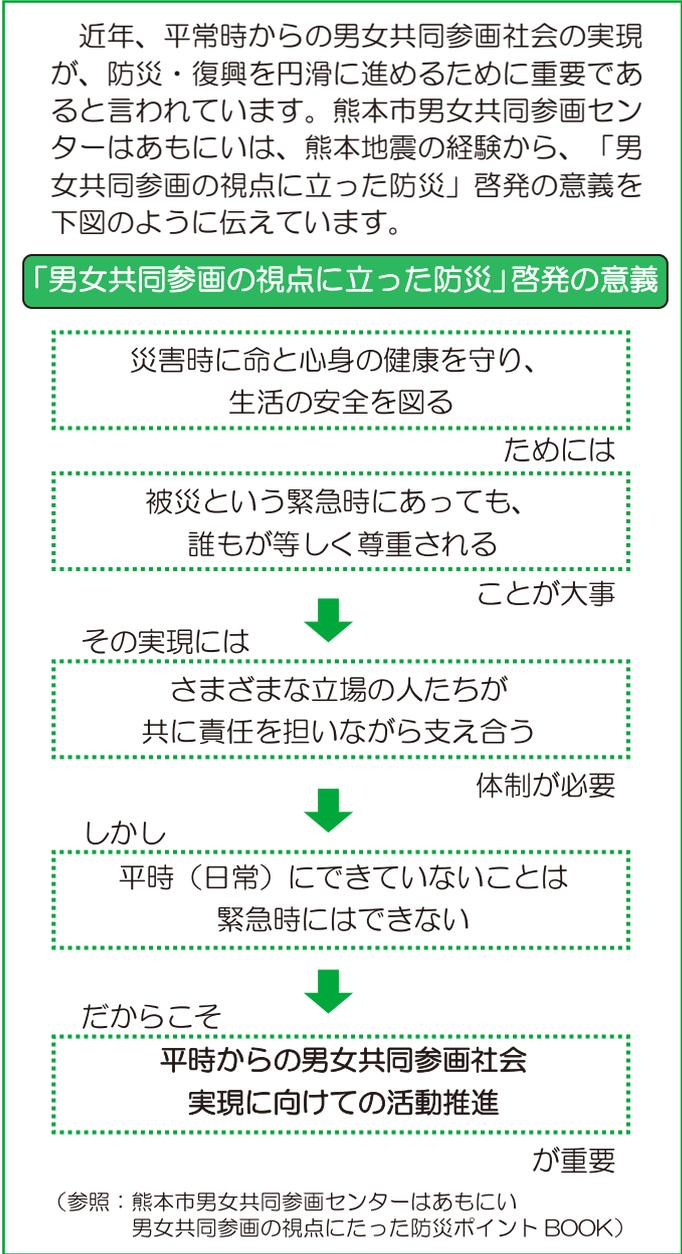
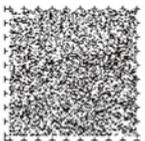
今年の7月、熊本県を中心に、九州や中部地方などで甚大な被害をもたらした「令和2年7月豪雨」。

久留米市でも線状降水帯が発生し、記録的大雨に見舞われました。多くの家屋が浸水被害に遭い、道路の冠水や損壊の被害も発生しました。市内ほぼ全域に警戒レベル4となる「避難勧告」「避難指示」が発令され、コミュニティセンターや小学校など44校区に開設された避難所では、多くの住民が不安な夜を過ごしました。

今後、大規模災害が発生した際に、地域の多様な人々がどのような困難に直面するのかを皆で考え、男女の抱える困難やニーズの違いへの配慮などを理解し、男女がともに参画し防災意識を高めてそなえておくことが大事です。国の防災基本計画、久留米市地域防災計画にもしっかりと災害対応における男女共同参画の視点での対応が盛り込まれています。

久留米市男女平等推進センターでは、これまで、避難所運営ゲーム（HUG）の体験や、まちづくり参画講座で朝倉の豪雨被災地を視察し、女性団体との意見交換、「災害時にそなえて自分にできること」を参加者同士で話し合うなど、地域女性リーダーの育成、女性人材の育成を行っています。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、中止となりましたが、平常時から男女共同参画の必要性を認識し、女性が地域活動に参画し活躍することで、災害に強い社会になるよう取り組みを進めていく必要があります。



※避難所を開設している期間は掲示してください。

避難所に更衣する場所がないので更衣室をダンボールで作ったところ上からのぞかれた。その更衣室を使うときは見張りを立てるようにした (13～16歳女子)

避難所で成人男性からキスしてとられた。トイレまでついてくる。着替えをのぞかれる。母親を含めて誰にも知られたくない。加害者が避難所にいらなくなしてほしい。(6～12歳女子)

男子が同じ避難所にいる男性にわいせつな行為をされた。ほかの男子数名も被害に遭った。家族が、避難所の宿舎だった現場職員に相談し(中略)、加害者には避難所から出てもらうことになったが、その前に加害者は避難所を出た。(6～12歳男子)

避難所で夜になると男の人が毛布に入ってくる。周りの女性も「若いからしかたないね」と見て見ぬふりをして助けてくれない (20代女性)

授乳しているのを男性にじつと見られる。置寮に連絡したら巡回の回数が増やされた。その後、授乳スペースが設けられた。(30代女性)

避難所・避難先では女性や子どもを狙った性被害・性暴力、DVなどが発生するリスクが高まります

東日本大震災女性ネットワーク調査チーム 2015「東日本大震災「災害・復興における女性と子どもへの暴力」に関する調査報告書より

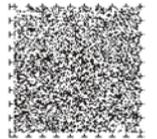
自分を大切にしてください
単独行動はしないようにしましょう!!
性的な嫌がらせやいたずらなど尊厳を傷つける行為も犯罪です
被害をうけたら相談を!!

周囲の目と支えがたよりです
見ないふり・知らないふりをせず助け合いましょう
ストレスをためず不安な気持ちも声に出しましょう

相談機関 ※相談は無料です。秘密は守られます。※受付時間は状況により変化する場合があります。ご了承ください

久留米市男女平等推進センター相談室	0942-30-7802
久留米市家庭子ども相談課	0942-30-9063
福岡県男女共同参画センターあすばる相談ほっとライン	092-584-1266
DV相談+ (プラス)	0120-279-889

このチラシに関するお問い合わせ：久留米市男女平等推進センター ☎0942-30-7800
※危険を感じたときは、警察に相談してください。☎(久留米警察署) 0942-38-0110 ☎(うきは警察署) 0943-76-5110



避難所には、性被害・性暴力、DVリスクの注意喚起チラシを掲示しました。

＜避難生活におけるジェンダーの問題＞

過去の国内の大規模災害では、性別をはじめ、多様な人へ配慮した形での被災者支援や避難所の運営・環境改善、在宅避難支援がうまく進まないという状況が起っていました。

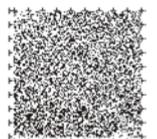
改善は見られるものの未だに多くの地域で、地域組織・自主防災組織の役員や、自治体等の管理職職員を男性が多く担っており、男女が対等な立場で一緒に物事を決めたり、組織運営を担ったりする環境や文化はまだ根付いていません。このことが、防災施策や被災者支援における意思決定はもちろん、避難所の運営や復興まちづくりに、女性が参画して責任ある立場を担って能力を発揮することを難しくしています。

例えば、東日本大震災時、ある避難所では、授乳や着替えの場所が確保されない、生理用品等が受け取りづらい、女性だから食事準備の割り当てが当然といった状況も見られました。

一方男性にも、役員として過度な責任や負担が集中したり、緊急時に援助を求めることを敬遠し、支援やソーシャルネットワークから隔離されやすいという脆弱性があるとされています。

このように、防災分野において、ジェンダー視点が欠如することは、女性にとっても男性にとっても不利益が大きいのです。

男女がともに避難所運営に参画する避難所では、物資配付の円滑化、在宅避難をしている要援護者への支援、外部からの多様な支援者との間の橋渡し、女性たちのニーズの丁寧な掘り起こしなど、より円滑な避難所運営・被災者支援を実現できると考えられます。



**避難所が長期化したときのために
～ 色々な立場で考えてみよう、
多様な人々が一緒に過ごせる避難所づくり ～**

避難所生活の要望

多様な意見を出しやすい環境づくり
特に高齢者・障害者・子ども・
病気の人・女性・LGBTQ など

暴力防止・安全の確保

DV・性暴力・虐待・セクハラ・
ストーカー対策をしっかりと！
照明、見回り強化、警察連携

平等な役割分担

性別や年齢に関係なくみんなで
責任・負担をわかちあおう
リーダー、炊き出し、見回り、
偏りはない？



家事・育児は 誰の役割なのか

萩原 なつ子

(立教大学大学院
21世紀社会デザイン研究科・教授)



新型コロナウイルスによる感染症の拡大は、社会的に弱い立場にある人により深刻な影響をもたらしています。また固定的な性別役割分担意識を反映したジェンダーによる諸課題が浮き彫りになってきました。そこで本誌では2回にわたり「新型コロナと男女共同参画」をテーマに立教大学大学院教授の萩原なつ子さんに解説していただきます。

妻が育児と家事に充てる時間は夫の2倍超！これは7月31日に公表された2020年版男女共同参画白書において明らかになった数字である。家族類型別でみると、もっと驚かされる。単身者では男女でほとんど変わらない家事時間が、夫婦二人になると妻が夫の2.6倍。子どものいる夫婦になると家事時間は妻が夫の2.8～3.6倍で、育児時間は2.1～2.7倍である。一般世帯の3分の2が共働き世帯という時代に、夫は家でいったい何をしているの？と思わずツッコミたくなる数字である。男女共同参画白書では男性の働き方を見直し、家事や育児への参画を進める必要があるとしている。数字といえば、厚生労働省の調査によると2019年度の男性の育児休業取得率は7.48%で、前年度よりほんの僅かだが上昇。ちなみに10年前の2009年度は1.72%。目標としていた2020年で13%を達成するどころか、10年間で1割にも満たない。今度はため息がでる数字である。

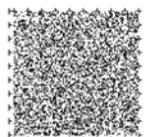
男女共同参画白書の数字で気になるのは、これが昨年に行われた調査をもとにした結果で、新型コロナウイルス禍の前であることだ。現時点で調査をすれば、おそらく、妻の家事・育児時間等は夫の3倍、4倍になっているかもしれない。という

のも、新型コロナウイルス禍により、外出自粛、休業、リモートワークが増加するに従い、家事、育児、病人、高齢者等の世話におい

て女性の負担が確実に増えていると各方面から聞こえてくるからだ。このような状況の中、ジェンダー平等を推進するための活動、#HeForSheを2014年から展開しているUNWomen（国連女性機関）は、新型コロナ禍の家庭における女性へのジェンダー不平等が著しいとして、多くの男性が家庭において公平な負担を求めるキャンペーン、#HeForSheAtHome（家庭でHeForShe）を開始した。

このキャンペーンの目的は、「便利なツールやコツを提供することによって、男性が自分の家庭において負担のバランスをとることができるよう鼓舞」し、男性が具体的に行っている家事にまつわるストーリーを集め、共有することにあるようだ。ここでいう家事にまつわるストーリーとは、新しい掃除機の使い方とか皿洗いのゲームなど、男性が「ちょっとやってみようかな」と思うような事例のこのようである。「やってみようかな」と思わせることが大事で、ナッジ（nudge）理論の応用ではないかと勝手に思っている。

ナッジ理論とは、ノーベル経済学賞を受賞したシカゴ大学のリチャード・セイラー教授らが提唱した行動経済学の考え方で「ひじで突くように軽く行動を促す」ことだ。ナッジとは肘でちょっとつつくことで、つまり「やりなさい！」と強制するのではなく、あたかも自らが選択して動いたと思わせるようにそれとなく後押しすることを意味している。たとえば、子どもの頃に宿題やりなさい！



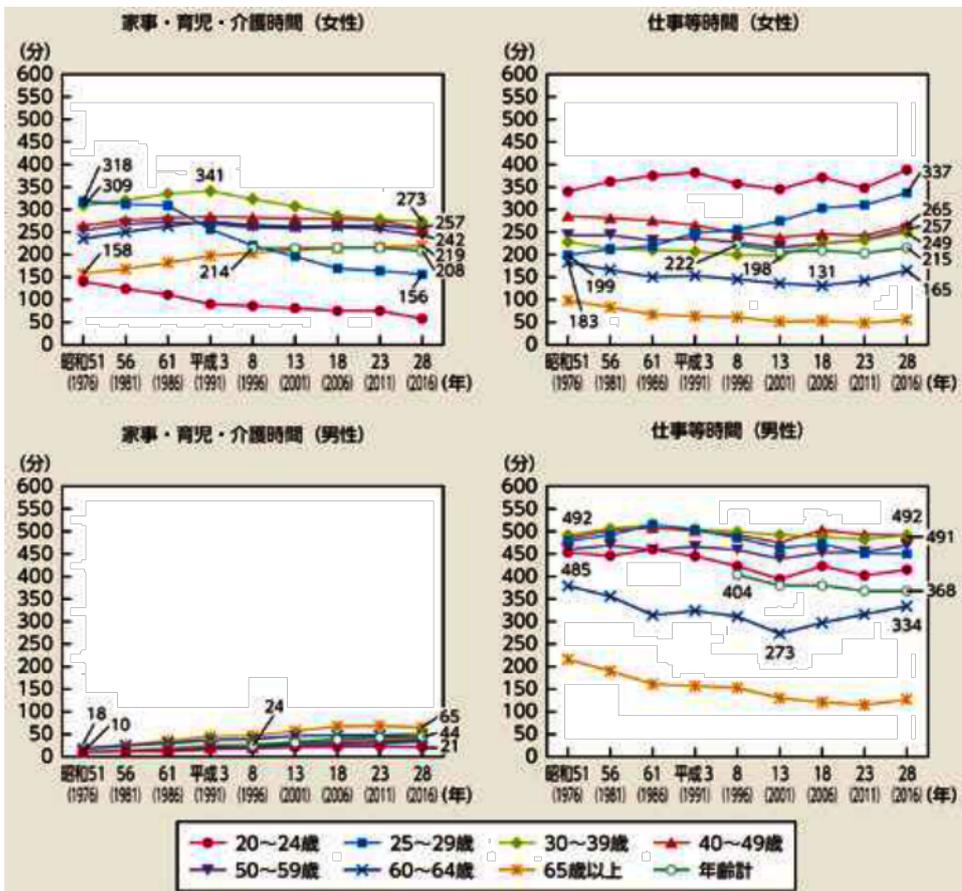
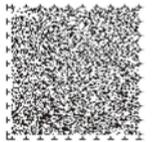
と親にいわれると、ますますやりたくなくなるという経験は誰もが持っているはずだ。

ところで、夫の家事・育児へのかかわりで禁句といわれているのが「何か手伝おうか?」。言われた瞬間に妻から出る言葉は「手伝うってどういうこと?!」だろう。家庭科の男女共修の成果なのかわからないが、夫の家事・育児への参加は増えてはいるようだ。しかし「イクメンは名もなき家事ができてから」（第4回オリックス働くパパママ川柳の大賞受賞作）に象徴されるように、妻の側からすれば「手伝う」レベルにも達しておらず、「参画」までは道なかば、なのである。この夫と妻の分担意識のギャップに目をつけた株式会社クレハが2020年6月16日より特設WebサイトやYouTubeで公開したメッセージ・ムービー「NEWクレラップ僕は手伝わない」編が話題になっている。

共働き夫婦と娘の3人家族。冒頭、「僕は手伝わない」から始まり、「僕は家のことを手伝わない」「手伝う、じゃなくて僕もやるのが当たり前だと思うから」と続き、娘に絵本を読みながら自分も寝落ちしてしまった父親の寝顔と洗われていない食器の

映像に重ねて「けっこう完璧・・・とはいかないけれど」というフレーズが流れる。干したばかりの洗濯物のポケットに何かが入ったままであることに気づいた妻が、「パパ」と優しく声をかけるシーンに“あるある!”と思わずニヤリ。そして「家族のカタチも仕事のカタチも変わったのだから、僕たちのカタチも変わるはず」で終わる。理想の「家族のカタチ」が描かれているなあと思う。

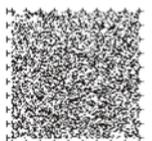
新型コロナウイルスは終息どころかWithコロナ社会が現実となりつつある中、「新しい生活様式」が求められている。当然のことながら「家族のカタチ」もバージョンアップが必要となり、男性が家事・育児そして介護に当事者として主体的にかかわるためのOS（基盤）のアップデートが急がれる。ナッジ理論を有効に活用して、男性が家事・育児に自ら参画することを促す、「ちょっと肘でつつく」アイデアを出し合ってはどうか。

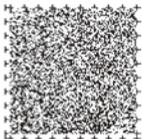


【参考】
男女別に見た家事・育児・介護時間と仕事等時間の推移

(週全体平均)
(年齢階級別昭和51年→平成28年)

<2020年版男女共同参画白書より>





「久留米女性憲章」と「久留米女性週間・久留米女性週間記念事業」

久留米市では、1988年（昭和63年）7月、女性の自立と男女共同参画社会づくりをめざして「女性問題解決のための久留米市行動計画」を策定し、同年10月に全国で3番目の女性憲章となる「久留米女性憲章」を制定しました。憲章は、「女性も男性も人間らしく、ともに力を合わせて、豊かに生きられるまちづくり」を理念とし、市民と行政が一体となって邁進する目標が掲げられています。また、その普及を図るために、憲章の制定日からの1週間は「久留米女性週間」（10月1日～7日）と定めています。

毎年この期間中に「男女平等社会づくり」をテーマに、市民のみなさんとの協働で「久留米女性週間記念事業（くるめフォーラム）」を開催しています。

久留米女性憲章

わたくしたちは、「男女共同参画社会 久留米」をめざし、人間としての自立と平等を基本理念として、家庭で、学校で、職場で、地域で、生涯を通じ、男女がともにのびやかに豊かに生きる新しいまちづくりを進めるために、この憲章を定めます。

1. 男女平等をあらゆる場、あらゆる機会を進めます。
2. 男女がともに自立し、いきいきと暮らせるまちをつくります。
3. 男女があらゆる分野にともに参画できるまちをつくります。

（昭和63年10月1日制定）

今年は期間中、フォーラム歴史
パネル展を行っています！



実行委員長挨拶

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年10月3日（土）4日（日）に開催を予定しておりましたくるめフォーラム2020は中止することとなりました。

このような判断になったことは非常に心苦しい限りですが、参加者・関係者の皆さまの安全を第一に考え、実行委員会事務局、久留米市とも充分協議を重ねた結果として、ご理解を賜りたいと存じます。また、来年以降のくるめフォーラムにご支援・ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

くるめフォーラム2020実行委員長 緒方 麻美

DVのないまちづくり宣言 10周年

久留米市では、平成22年11月にDV被害者の保護を目的とした全国の団体が集う「第13回全国シェルターシンポジウム2010inくるめ」において、日本で初となる「ドメスティック・バイオレンス（DV）のないまちづくり宣言」を行いました。

この宣言は、配偶者等からの暴力を容認しない社会、市民一人ひとりが安全で安心して暮らせる社会をめざすにあたり、市と市民の共通の指針として制定されたものです。

久留米市は、この宣言とともに「DV対策基本計画」を策定し、DV防止の啓発や被害者の相談支援体制の整備、市役所内におけるワンストップサービスの維持継承など様々な取組を行い、成果をあげてきました。

令和元年に実施した「男女平等に関する市民意識調査」では、DVを受けた経験がある人は全体の21.1%と前回（平成26年）の25.5%よりやや減

少ししました。しかし、久留米市のDV相談は、令和元年度1,773件とたいへん多く、未だに苦しんでいる女性が大勢いることがわかります。

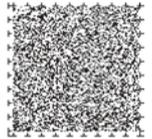
今年は、DVのないまちづくり宣言から10年になります。市では、あらためてDVは重大な人権問題であることを多くの人にお知らせし、市民の皆様との協働でDVのないまちづくりを進めてまいります。



えーるピア久留米でDVのないまちづくり宣言を行う橘原前市長

問合せ：男女平等政策課 電話：0942-30-9044/FAX：0942-30-9703

えるぼし認定をご存知ですか？



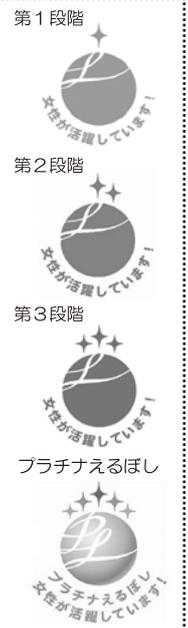
女性活躍推進法では、一般事業主行動計画の策定及び策定した旨の届出を行った企業のうち、一定の基準を満たし、女性の活躍推進に関する状況等が優良な企業について、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度が創設されています。

認定を受けた企業は、認定マーク（愛称「えるぼし」）を商品や広告、名刺、求人票などに使用することができ、女性の活躍を推進している事業主であることをアピールすることができるなどのメリットがあります。

この「えるぼし」には第1から第3までの段階があり、第3段階は、国が定めた「採用」「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の基準を全て満たした企業に対する認定です。

令和元年5月29日、女性活躍推進法等の一部を改正する法律が成立し、令和2年6月からは、えるぼし認定企業のうち一般事業主行動計画の目標達成や女性の活躍推進に関する状況等が特に優良である等の一定の要件を満たした場合に認定されるプラチナえるぼし認定が始まりました。

福岡県内のえるぼし認定企業は令和2年3月末現在で第2段階が9社、第3段階が20社。今回は、久留米市内で初めてえるぼし認定、しかも当時最高位の第3段階をうけた企業にお話を伺いました。



有限会社Linkプロジェクト(久留米市津福本町)

パソコンスクール経営、講師派遣、職業訓練民間委託施設、企業研修、各種セミナー、再就職支援、インストラクター養成、キャリアコンサルティング業務

(左)代表取締役 原口曜吉さん
(右)社員 古賀愛実子さん(入社10年目)

○えるぼし認定の背景と現状

原口：当社は職業訓練、キャリア形成、人材育成講師業で、女性活躍は当然との考えがある。講師業はノウハウの蓄積であり、自社で育てていく中、人が一番の財産と考えている。

古賀：入社したときに女性活躍、男女平等の風土がすでにあった。えるぼし認定を受けるために取り組んだのではなく、要件を見たらすでにできていることだったので申請した。育休は男女ともに当たり前で取得している。事前にわかることでもあり計画的に協力して対応できる。

原口：当社は男女がともに働いているだけでなく、役職がなく、上下関係がないのが特色である。

古賀：代表が指示することはほとんどなく、社員が主体的にすすめている。

残業はなく、土日祝日は基本的に休み。クライアントの希望で働いたときは代休を取得している。また、社員がキャリアアップするために資格を取得することを奨励しており、研修費用を全面的にバックアップしてくれる。

原口：自主性がない社員には厳しいかもしれない。

○その企業風土はどうしてできあがったのか？

原口：一緒に起業した女性が、その1年後に出産す

ることになった。優秀で尊敬できる人で、そもそも「この人を生かしたい」と思い起業したところもあったため、休んでいただき一人で業務をまわし、その後復帰していただいた。

その後も、社員が増えるにつれ、「この人を生かすにはどうすべきか」を考えている。

古賀：今のよい環境を作っていただいた代表に感謝。

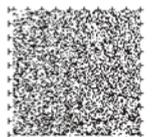
○えるぼし認定後について

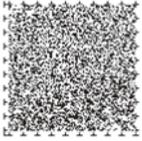
原口：市からの依頼で、他の企業向けにえるぼし取得の話をする機会をいただいた。また、入札で加点され、公的な受託を受けやすくなっており、さらに信用が付き仕事を請けやすくなるという効果があった。

古賀：プラチナえるぼし認定も可能ならば受けたい。

○女性活躍について

原口：女性が働きやすい職場は男性にとってもいい職場。重労働、長時間労働は企業の成長とイコールではない。人は、性別で優秀さに違いはない。現状、女性は男性に比べ、出産等で職場を離れる時間が長いなどのハンデを受けているが、環境を整えることにより仕事以外の経験で身に着けたマネジメント力を生かして活躍できる。





相談室だより

～新型コロナ禍におけるDV～

●DV被害の増加と深刻化

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、世界中で配偶者等からの暴力（DV）の増加や深刻化が懸念されています。外出自粛や経済危機により人々のストレスが高まる中、多くの女性が身の安全を守る情報や支援を受けることができないまま、暴力を振るう相手との自宅待機等を余儀なくされ、社会から孤立している恐れがあります。

●コロナ禍とDV

コロナ禍は、経済に大きなダメージを与え多くの人の生活基盤を脅かすとともに、外出できない状況を作り、生活にも大きな変化をもたらしています。それらによる不安や焦りは、膨らむ一方、外で発散させる場がなくなり、長時間一緒にいる家族に暴力や攻撃という形で向けられやすくなります。「相手は自分に従うべき」、「八つ当たりをしてもいい」という誤った考えを持つ加害者は、相手を力によって支配しようとするのです。

一方被害者は、自分の家族の内情を他人に知られたくないと思い、精神的な支配を受けるなかで「相手を怒らせる私が悪い」「私さえ我慢すればいい」等と考えるようになり、怒らせないように、相手の顔色をうかがいながら生活をするようになります。外出自粛等により家族がずっと家にいることで監視が強まると、被害者が外部に相談しにくい状況が生じてしまいます。DVは、他人からは見えにくく、すでにこれまでもDVがあった家庭では、その暴力がエスカレートしやすくなり、非常に危険な状況に陥ることが懸念されます。

●一人で悩みを抱えていませんか？

DVを含め女性に対する暴力は、重大な人権侵害であり、いかなる状況にあっても、決して許されるものではありません。誰もが安全に安心して暮らす権利があります。あなたは、暴力を振るわれていい存在ではありません。配偶者等からの暴力で不安を感じたら、一人で悩まず、相談窓口にご相談ください。また、周りに悩んでいる人がいたら、ぜひ相談室の情報をお伝えください。私たちは一人でも多くの方が安心して暮らせるよう寄り添っていきます。

男女共同参画の視点を防災に 図書情報ステーション

被災という緊急時であっても誰もが等しく尊重されるためには、日頃からの男女共同参画の視点到った防災の考え方が必要です。男女共同参画と防災をテーマにした資料を集めました。

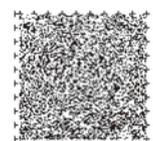


熊本地震を経験した私たちが提案する 男女共同参画の視点到った防災ポイントBOOK

熊本市男女共同参画センターはあもにい 2019年
熊本地震の翌年にセンターが行ったアンケート調査結果をもとに課題と解決策がわかりやすく書かれています。

多様な性を生きる人のための防災ガイドブック

性と人権ネットワークESTO 2017年
さまざまな要素で災害時の避難や被災後の生活が困難になる人がいます。だれもが災害時に少しでも安心して過ごすことができるために、まずその一歩として読んでほしいハンドブックです。



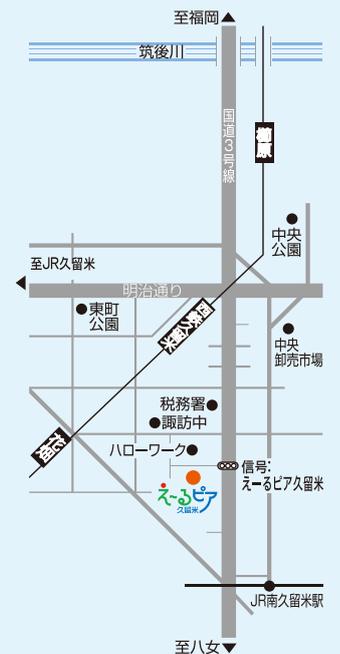
西日本豪雨災害被災者支援活動レポート

公益財団法人ジョイセフ 2020年
2018年の西日本豪雨災害で被災した女性たちへ、ジョイセフが行った助産師の訪問活動支援や母たちの交流の場の提供を行った記録です。

●編集・発行●
令和2年9月

久留米市男女平等推進センター

〒830-0037
久留米市諏訪野町1830-6
えーるピア久留米内
TEL. 0942-30-7800
FAX. 0942-30-7811
URL. <http://www.city.kurume.fukuoka.jp>
E-mail. danjo-c@city.kurume.fukuoka.jp



- 徒歩/西鉄久留米駅から約10分(約700m)
- バス/西鉄久留米駅から約5分
JR久留米駅から約20分
「税務署前」下車、徒歩5分
- 駐車場(有料)はございますが、おいでの際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

この広報誌は環境に配慮し、再生紙を使用しています。